

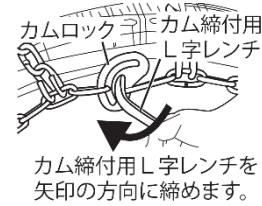
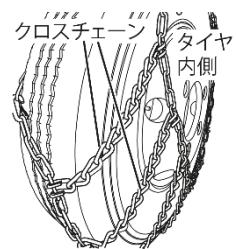
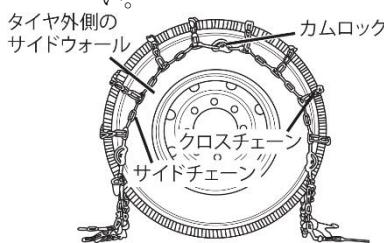
# 取扱説明書 タイヤ・チェーン

## 1. 使用方法

※本商品を装着、脱着する際は、**指定の着脱場**または、**平坦で安全な場所**に車輛を停車させてください。  
また、**パーキングブレーキを確実にかけ、エンジンが停止**している状態で作業を行ってください。

※本商品は、**左右の駆動輪に取り付け**して使用してください。

- ① タイヤに付着している雪や氷を落としてください。
- ② タイヤチェーンのカムロック取り付け側がタイヤの外側になるように、タイヤ上部から被せてセットしてください。その際、サイドチェーンがタイヤ外側のサイドウォールへかかるようにし、クロスチェーンにねじれがないことを確認してください。（図1参考）。
- ③ 端末金具のラッチを他端のサイドチェーン端末へ掛けて仮留めしてください。この段階ではタイヤから外れない程度で緩めに仮留めしてください。（図2参考）。
- ④ 車輛を前進または、後退（タイヤ約半回転分）させ、内側の端末金具のフックを他端のサイドチェーン端末へ掛けてください。その際、フック側のクロスチェーンを内側に落とし込むことで作業しやすくなります（図3、4参考）。
- ⑤ 必要に応じて、Cカン部分でチェーン端末長さを調整してください（図5参考）。
- ⑥ 再度クロスチェーンがねじれていなことを確認し、クロスチェーン同士の間隔が均等になるように整えてください。
- ⑦ ③で仮留めしたラッチを一旦取り外し、サイドチェーン端末の適当な位置にラッチを通してください（図6、7参考）。続けて、矢印の方向にラッチを引き上げ、ラッチ用チェーンに掛けてください（図6、7参考）。
- ⑧ カムロックにカム締付用のL字レンチを差し込み、時計回転方向に回して締め付けてください。全てのカムロックを締め付けてもタイヤチェーンに緩みがある場合は、『手順④フック位置』・『手順⑦ラッチを通す位置』を変更して締め直してください。
- ⑨ 装着後、10km/h以下の速度で50~60m走行し、タイヤチェーンが正しく装着されていることを確認してください。



## 2. 注意事項

### △危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負うことになるもの。)

- ① 本商品を装着、脱着する際は、**指定の着脱場**または、**平坦で安全な場所**で行ってください。坂道での作業は大変危険ですので、絶対にしないでください。
- ② **パーキングブレーキを確実にかけ、エンジンが停止**している状態で作業を行ってください。
- ③ 本商品到着後に必ず試装着を実施し、予め装着確認と使用方法を把握してください。

### △警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ① 本商品は**雪道または凍結した路面**で**タイヤに装着して使用する滑り止め装置**です。その他の用途には使用しないでください。
- ② 本商品を装着する際は、車輛の取扱説明書などで装着車輛の駆動輪を確認し、必ず**駆動輪に装着**してください。
- ③ 本商品に磨耗や傷、変形が見受けられる場合は、安全な場所まで移動したのち、使用を中止して、新しい物と交換してください。走行中に本商品が外れて重大事故に繋がる恐れがあります。
- ④ 本商品装着時は、必ず**30km/h以下で走行**してください。
- ⑤ 本商品装着時は、急ブレーキ・急発進・急加速・急ハンドルなどの運転操作はしないでください。また、タイヤの連続空転は絶対にしないでください。
- ⑥ 装着作業時・発進時は車輛周辺に人がいないことを確認してください。また、ゆっくりと安全な速度で発進してください。
- ⑦ 本商品を装着する車輛の取扱説明書も合わせてご確認の上、使用してください。

### △注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ① 本商品は、**雪道または凍結した路面**でのみ**使用**してください。装着の必要がなくなれば、安全な場所まで移動したのち、速やかに取り外してください。
- ② 締め付けが緩い状態で使用すると、本商品が破損する恐れがあります。緩んだ際は、適時適切に締め付けて使用してください。
- ③ 本商品使用時に異常音が発生した場合は、安全な場所に車輛を停車させ本商品の取り付け状態を確認してください。
- ④ タイヤに小石などの異物が挟まっている場合は、取り除いてから装着してください。
- ⑤ タイヤの空気圧が減っている状態で使用しないでください。
- ⑥ 本商品装着時は、石や氷の塊が飛び散る恐れがあります。
- ⑦ 本商品の使用後は、付着した雪、雨水、融雪剤、泥などを水で綺麗に洗い流してください。十分に乾燥させた上で防錆剤を塗布して保管してください。
- ⑧ 直射日光の当たる場所、高温、低温の場所には保管しないでください。
- ⑨ 本商品を投げたり、引きずったり乱暴に扱わないでください。

